

ワイヤレスシリーズ 防雨型 ソーラーライト 取扱説明書

この度は、PIXONのワイヤレスシリーズPX-950をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

注意

・単独では使用できません。

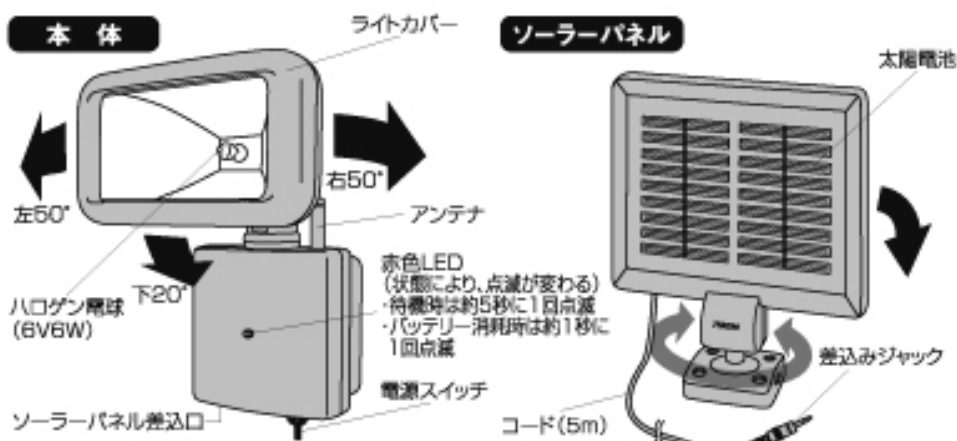
対応機種

・組合せ自由…用途に応じ本機と別売りの対応機種との組合せができます。

PIXON ワイヤレスシリーズ PX-900 (センサー180°・ライトセット)、PX-910 (センサー180°)、PX-930 (ライト一体型センサー180°)、PX-960 (リモコン)

以下の機種にも対応しています RITEX無線センサー W-800 (セット)、W-810 (センサー)、W-830 (センサー付ハロゲンライト150W)、W-860 (リモコン)、W-870 (ダブルセンサー)

1. 部位説明



付属品



2. 仕様

ライト本体		ソーラーパネル	
適用電球	ハロゲン電球 6V6W	種類	結晶太陽電池
バッテリー	ニッケル水素電池 6V・1200mA	出力	7V1W
電源スイッチ	ON/OFF (電源OFFの状態でも充電可能)	コード長さ	5m
受信周波数	315MHz	サイズ	幅176mm×奥50mm×高さ211mm (クランプ除く)
電波到達距離	見通し約30m	クランプの取付けサイズ	厚み 最小約15mm~最大約110mm パイプ径 最小約30mm~最大約80mm
セレクトチャンネル数	256チャンネル (16×16チャンネル)	重量	310g (クランプ除く)
動作保持時間	約20秒 ※PX-910 (センサー180°)、PX-930 (ライト一体型センサー180°)、PX-960 (リモコン)、W-810 (センサー)、W-830 (センサー付ハロゲンライト150W)、W-860 (リモコン) W-870 (ダブルセンサー) からの電波による	設置場所	屋外用 (防雨タイプ)
サイズ	幅150mm×奥140mm×高さ207mm (クランプ除く)		
クランプの取付けサイズ	厚み 最小約15mm~最大約110mm パイプ径 最小約30mm~最大約85mm		
重量	約680g (クランプ除く)		
設置場所	屋内、屋外用 (防雨タイプ)		

3. ⚠ 警告

①電球を取替える時は

- 点灯中、消灯後は電球が熱くなっていますので絶対に交換しないでください。
- 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れているので、突然ライトがつくと危険です。必ず電源スイッチをOFFにしてから取替えてください。

②バッテリーを交換の時は

- 濡れた手で本体や差し込みジャックに触れないでください。雨などで濡れた時も触れないでください。感電の恐れがあります。
- 必ず電源スイッチをOFFにしてから取替えてください。

③取付け場所は、燃えやすいものが近くにない所を選んでください。

- 布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
- 昼でも本体に物（布団や布等）を被せると引火する危険があるので絶対にしないでください。



④火傷に注意してください。

- 点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。



⑤屋外に取付ける場合は

- 本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けしないでください。
- ※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。



⑥屋外、屋内に関係なく、本機を斜め、下向き、逆さまには取付けしないでください。



⑦本機を改造しないでください。



⑧電波を出す器具の近くには取付けしないでください。

- 電波を出す器具や本機が誤動作する時があります。

⑨医用電機機器に与える影響

- 発信電波が医用電機機器、医用電機機器に与える影響は極めて少ないものですが、安全管理のため発信機は医用電機機器から2m以上離して使用してください。

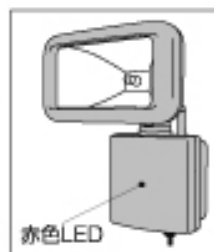
※本機は探知範囲内に進入する物（人、車等）に対して注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
※製品改良のため、使用および外観は、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

4. ご使用前に本体を充電してください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認のうえ、安全にご使用ください。
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

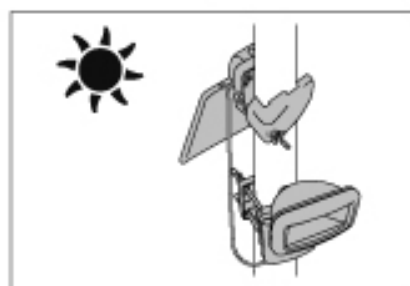
4-1. 購入後は充電してください

- 赤色LEDの点滅で充電不足がわかります。充電不足の時は、赤色LED点滅が1秒に1回になります。（通常は赤色LEDの点滅は5秒に1回です。）
- 購入直後は充電が不十分ですので、晴天の日に約2日間充電した後、使用してください。
- 数日間、天候の悪い日が続きますと、充電が不十分になります。
※電源スイッチはOFFにして充電してください。
※ソーラーパネルの差し込みジャックを本体のソーラーパネル差し込みにしっかりと接続します。



- 購入直後の充電時はソーラーパネルと本体をクランプで取付けします。充電完了後に本機と発信機（別売）のテスト動作を行います。“7. 本機（PX-950）と発信機（別売）のテスト動作”参照。

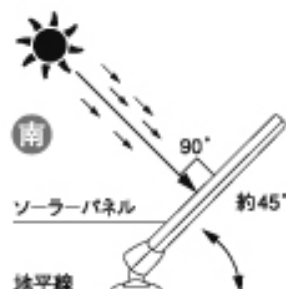
相手の発信機（別売）の電波が到達しない場合、後で取付け場所を変更する可能性がありますので、充電時はソーラーパネルと本体ともに、後で取外しができるように、クランプで取付けしてください。また、本体は、斜め、下向き、逆さまには取付けしないでください。



4-2. 取付前の注意

- ソーラーパネルの正しい取付け場所と角度
※取付けが正しくない場合、十分に充電されません。

- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節



※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

- 5m以内に

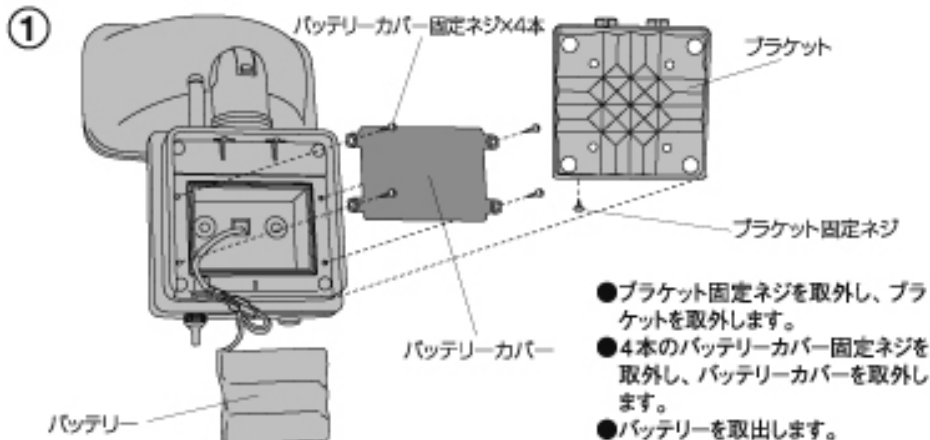
ソーラーパネルのコードは5mです。本体との距離を確認した上で取付けてください。



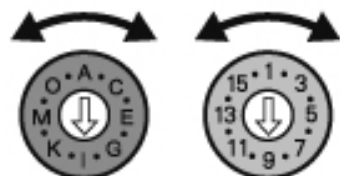
5. チャンネルの確認・切替え

- 本機 (PX-950) と相手の発信機 (別売) のチャンネルが同じ組合せか確認してください。
(ワイヤレスシリーズは出荷時に緑のチャンネルはI、黄色のチャンネルは9に設定していますので、そのまま使用できます。)
- 本機 (PX-950) と相手の発信機を取付ける前に、相手の発信機を動作させて、本機 (PX-950) のライトが点灯すればチャンネルは同じ組合せです。(“7.本機 (PX-950) と発信機 (別売) のテスト動作”を参照)

チャンネルの切替え方



- ② ●緑と黄色の内側の矢印の指すチャンネルが相手の発信機と同じ組合せか確認してください。
※組合せが間違っていると動作しません。



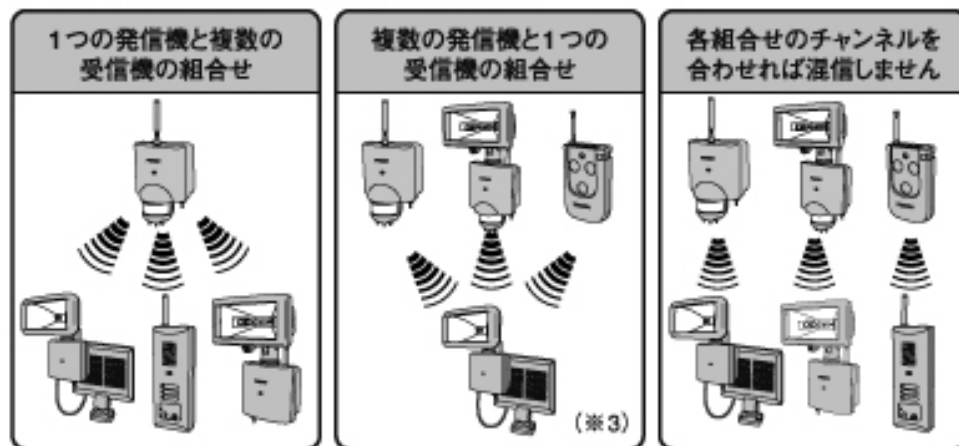
- マイナスドライバーで内側の矢印を回してください。
緑と黄色のチャンネルの組合せで256通りのチャンネルに替えることができます。

- チャンネルは256通りできます。緑のチャンネルで16切替え、黄色のチャンネルで16切替え、組合せは256通りできます。近所と同じPIXONのワイヤレスシリーズ、またはRITEXの無線センサーを設置されていますと送信し誤動作をしますのでチャンネルを切替えてください。
※PX-940 (ボイス付チャイム&アラーム) と組合わせる場合のみ、片側のチャンネルが“I”、“M”、“E”の3チャンネルに固定されていますので、本機の緑のチャンネルは“I”、“M”、“E”の3チャンネルと黄色のチャンネルの16切替えでご使用ください。

6. ワイヤレスシリーズの組合せ

発信機 (※1)		
PX-910 (別売) センサー180°  センサーが探知して受信機へ発信	PX-930 (別売) ライト一体型センサー180°  センサーが探知して本体の150Wハロゲンが点灯、同時に受信機へ発信	PX-960 (別売) リモコン  点灯、消灯、チャイム&アラームの発信
受信機 (※2)		
PX-920 (別売) ライト  150Wハロゲンが点灯・点滅する	PX-940 (別売) ボイス付チャイム&アラーム  チャイム音、アラーム音、ボイスを選択して鳴らす。音量調整可能。	PX-950 (本機) ソーラーライト  ソーラー発電で電源不要。6Wハロゲンライト

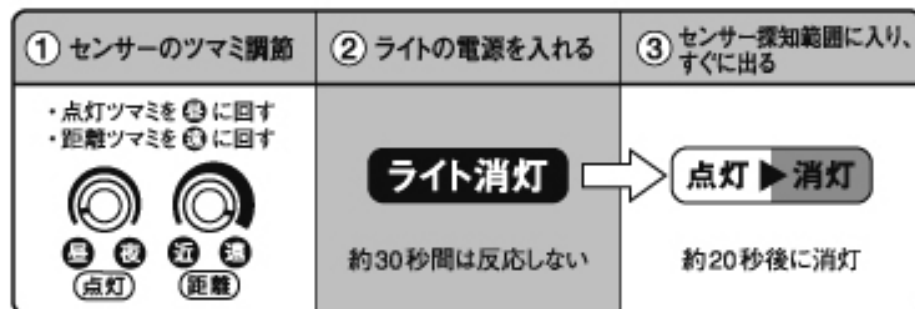
チャンネルを切替えることで、発信機と受信機の組合せが自在にできます。
同じチャンネルに合わせることで、組合せができます。



- ※1…発信機は、この他にRITEXのW-810、W-830、W-860、W-870も使用可能です。
- ※2…受信機は、この他にRITEXのW-820、W-840、W-850も使用可能です。
- ※3…2台以上の発信機が同時に発信した場合、受信機が動作しないことがあります。故障ではありません。

7. 本機 (PX-950) と発信機 (別売) のテスト動作

7-1. 本機 (PX-950) とセンサー180° (PX-910) または ライト一体型センサー180° (PX-930) との場合



- △注意**
- 本機 (PX-950) はセンサーの時間ツマミに関係なく約20秒で消灯します。
 - 点灯、消灯しない時は、各機種取扱説明書に記載してある“故障かなと思った時”の事項を参照してください。
 - ライトが点灯しない場合は、一度センサーの探知範囲から2分以上離れ、再びセンサーに近づくとライトが点灯します。

7-2. 本機 (PX-950) とリモコン (PX-960) の場合



- △注意**
- 点灯、消灯しない時は、各機種取扱説明書に記載してある“故障かなと思った時”の事項を参照してください。

8. センサーをお好みのモードに調節します 別売 (PX-910、PX-930)

①点灯 (明かりセンサー) の調節

- 本機 (PX-950)、または別売のPX-920 (ライト)、PX-930 (ライト一体型センサー) の調節用です。
- PX-940 (ボイス付チャイム&アラーム) に対しては、チャイム&アラーム連動スイッチをONにしてください。

① 昼も夜も点灯・② 暗い時だけ点灯

点灯させる周りの明るさ調節は図1のように点灯ツマミ②から③にする事で調節することができます。

- ※実際に点灯させたい周りの明るさの時に調節してください。
- ※夜でも他の照明の光が当たる時は、ツマミを②にすると点灯しない場合があります。点灯するまで少しづつ②側に回して調節してください。



図1

②距離 (人感センサー) の調節

- 感度の調節は、図2のように調節ツマミを②へ回すと弱くなります。
- ※人以外にも動きのある熱源に感知しますので、小さな犬、クーラーの熱、太陽光の変化等に誤動作を少なくしたい時に調節します。また、探知距離も短くなります。



図2

③センサー探知角度の調節

- 探知したい場所へセンサーを向けてください。
- 探知角度を狭くしたい時は探知角度調整シールを図3のようにセンサーレンズ裏面に貼ります。



図3 探知角度調整シール

- △注意**
- 本機 (PX-950) はセンサーの時間のツマミに関係なく約20秒で消灯します。時間の調節はできません。
 - ※センサーの探知範囲に人がい続けると点灯時間が延長され消灯しません。

9. 別売 (PX-910, PX-930) の取付け前の注意

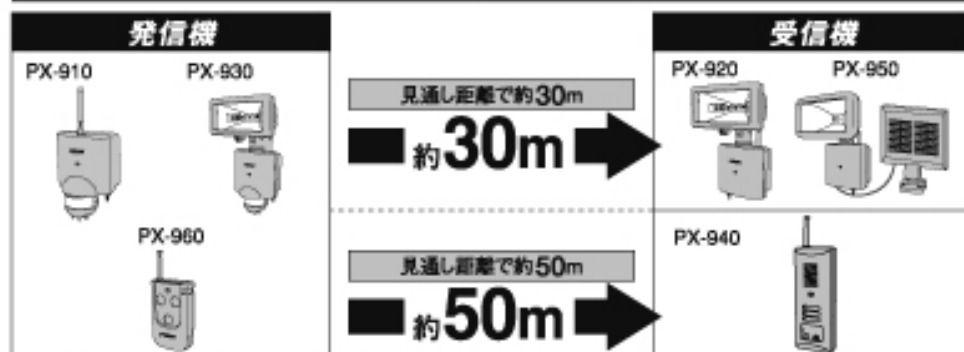
センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や動作しない時があります。



注意 (電波が原因で動作しない場所)

- 発信機 (※1) と受信機 (※2) の間に金属や鉄筋コンクリート壁がある。周辺が金属で囲まれている場所。(スチールキャビネットの間、カラオケボックス等)
 - 壁面に断熱用のアルミ箔を貼り付けたガラスウール。
 - テレビ、ラジオの発信所近辺の強電界地域または各種無線局が近くにある場所。
 - 発信機 (※1) と受信機 (※2) の間の距離が離れすぎている。
- ※本機の近くで携帯電話やPHS電話を使用している。
 ※テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、コードレス電話、FAX、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。
 ※1---PX-910、PX-930、PX-960、W-810、W-830、W-860、W-870
 ※2---PX-920、PX-940、PX-950、W-820、W-840、W-850

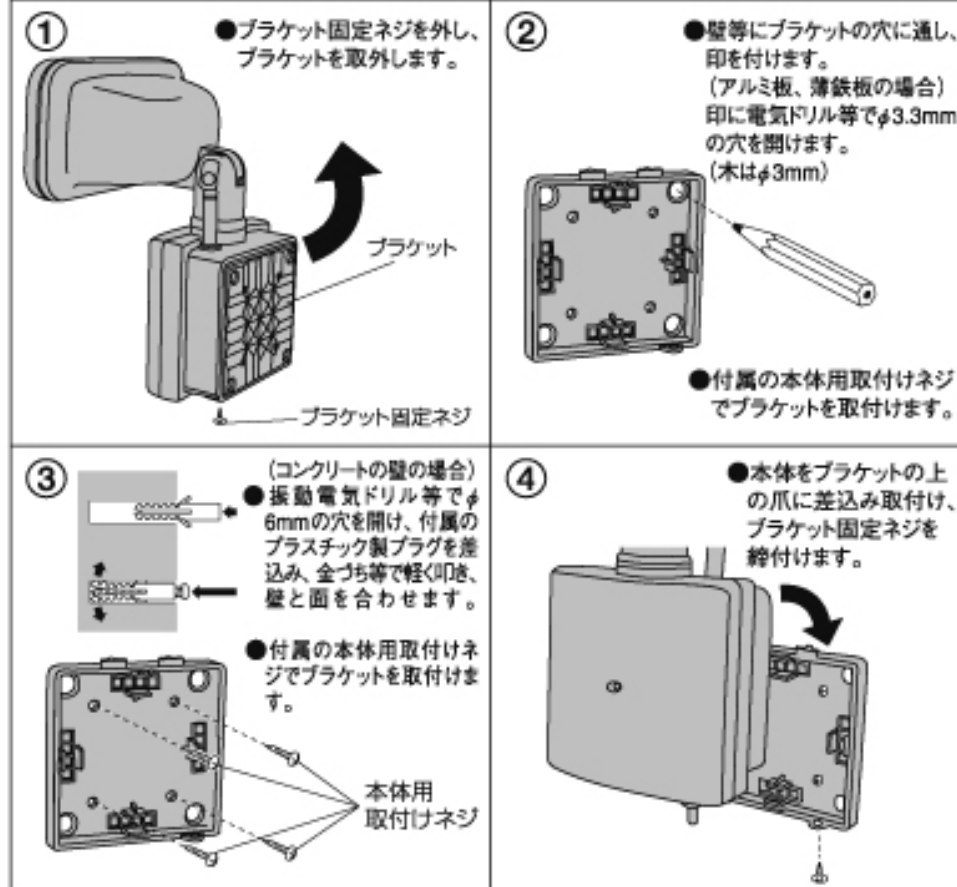
10. 電波到達距離



※発信機と受信機の間に障害物があると極端に電波到達距離が短くなる時があります。取付ける前に実際に動作を確認してください。

※発信機と受信機の取付け高さに差がありすぎると、電波到達距離が短くなる時があります。発信機と受信機の取付け高さは0m~2mの範囲で取付けてください。

11. 本体をブラケットで壁に直接の取付け方

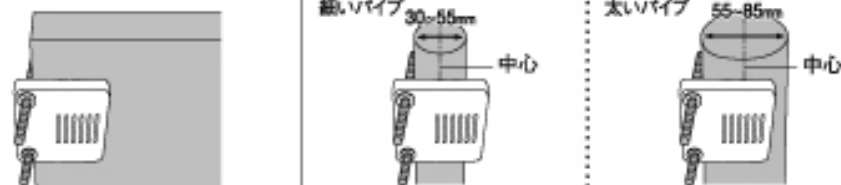


12. 本体をクランプでの取付け方

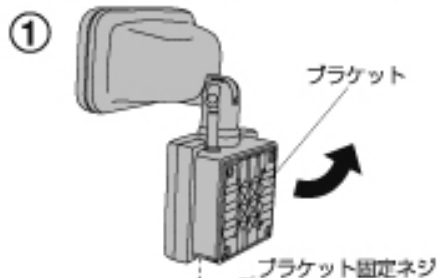
△注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

角柱・壁はL型ボルトが当たるまでしっかりと入れて、挟み込んでください。

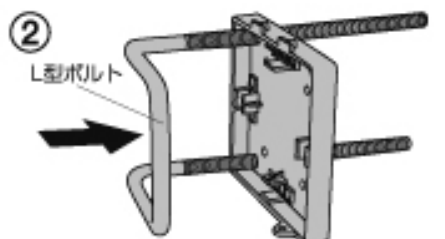
丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。



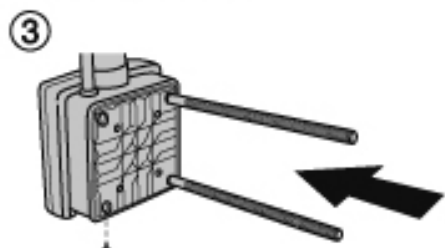
12-1. 上向きの柱、壁、パイプの場合



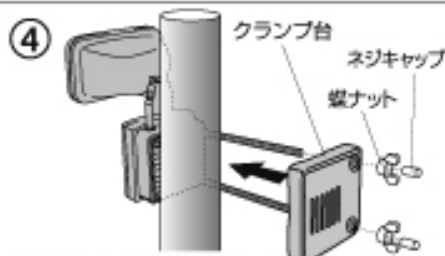
●ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを取外します。



●ブラケットにL型ボルトを差し込みます。
※壁への取付の場合、壁の取付けたい向きに合わせてL型ボルトを差し込んでください。

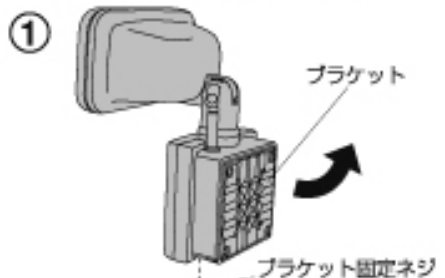


●ブラケットを本体に取付け、ブラケット固定ネジを締付けます。

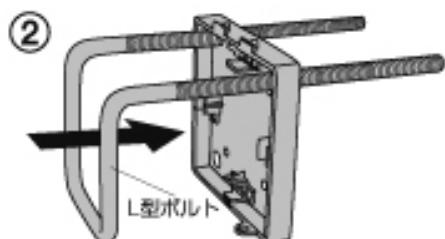


●柱、壁、パイプを間にして、クランプ台の穴にL型ボルトを通し、蝶ナット2個でしっかり締めます。ネジキャップを2個取付けます。

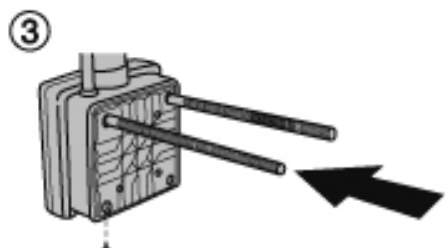
12-2. 横向きの柱、壁、パイプの場合



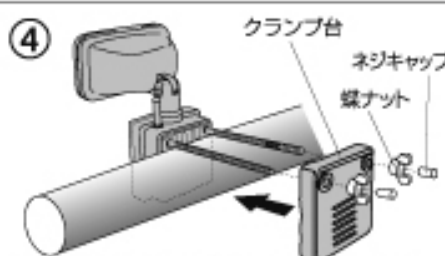
●ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを取外します。



●ブラケットにL型ボルトを差し込みます。
※壁への取付の場合、壁の取付けたい向きに合わせてL型ボルトを差し込んでください。



●ブラケットを本体に取付け、ブラケット固定ネジを締付けます。



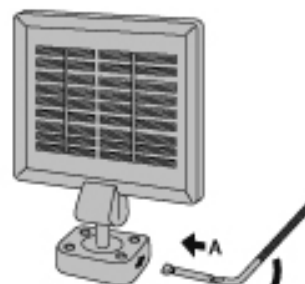
●柱、壁、パイプを間にして、クランプ台の穴にL型ボルトを通し、蝶ナット2個でしっかり締めます。ネジキャップを2個取付けます。

13. ソーラーパネルの取付け方

柱やパイプにクランプで取付ける場合

△注意 クランプ台は、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

L型ボルトをクランプ台に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップをつけてください。



L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°回します。

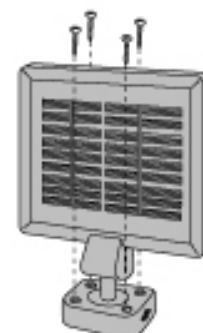


※柱・パイプをクランプの中央に挟みます。

壁に直接取付ける場合

1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル用取付けネジ4本で固定してください。

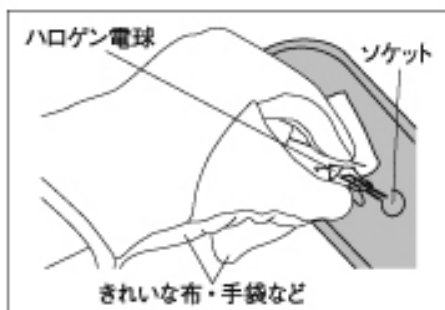
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「11 本体をブラケットで壁に直接の取付け方」と同様です。



14. 部品交換について

14-1. ハロゲン電球の交換

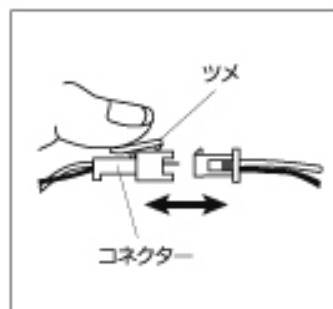
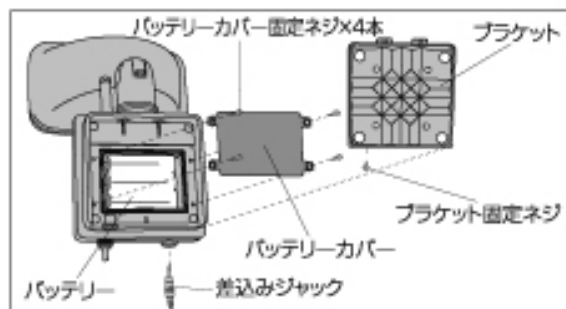
1. 電源スイッチをOFFにします。
2. ライトカバーの溝にマイナスドライバーを差込み、回すようにして開けます。
3. ソケットから古いハロゲン電球を取外し、新しいハロゲン電球を取付けます。
※ハロゲン電球はきれいな布・手袋などを使い取付けてください。
4. ライトカバーを本体に取付けます。
5. 電源スイッチをONにします。



- 警告**
- 点灯中、消灯直後は電球が熱くなっていますので絶対に交換しないでください。
 - 電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れていますので、突然ライトがつく恐れがあります。必ず電源スイッチをOFFにしてからお取替ください。

14-2. バッテリーの交換

1. ソーラーパネルの差し込みジャックを本体から抜きます。
2. 電源スイッチをOFFにします。
3. ブラケット固定ネジを取外し、ブラケットを取外します。
4. 4本のバッテリーカバー固定ネジを取外し、バッテリーカバーを取外します。
5. バッテリーボックスからバッテリーを取出します。
コネクターのツメを押しながらコネクターを取外します。
6. バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。



15. 替球、替バッテリーのお買いもとめについて

- 替球、替バッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は直接(株)プロトへご注文いただければお送り致します。但し、代金は前金でお願い致します。郵便切手でも結構です。

【品番S-61】
替球
(ハロゲン電球6V6W)



消費税・送料込み
¥1,300

【品番S-62】
替バッテリー
(ニッケル水素6V1200mA)



消費税・送料込み
¥5,000

16. 故障かなと思った時

※センサーとは、別売のPX-910、PX-930に付いています。

現象	考えられる原因	処置
本機(PX-950)が点灯しない		
探知範囲に人がいるのに点灯しない。	電球が正しく取付けられていない。(ソケットに正しく取付けられていない)	電球を正しく取付ける。
	本機の(PX-950)の電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにしてください。
	センサーの電源が入っていない。 ・PX-910の電池交換 ・PX-910の電池寿命 ・PX-930の電源プラグが外れている。	・PX-910の電池交換 ・PX-930の電源プラグを家庭用コンセントに差す。
	本機(PX-950)とセンサーのチャンネル設定が合っていない。	本機(PX-950)とセンサーのチャンネルを合わせる。 *5.チャンネルの確認・切替え*参照
	センサーの探知範囲の設定が適切でない	探知範囲を調整する。(センサー探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって真っすぐ接近している。	センサーに向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。蒸気や雨などの水滴が付いている。	センサーレンズをやわらかい布で傷が付かないようにふき取る。
周囲が明るい時に動作しない。	寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。手袋をしている。雨の日に傘で顔や手が隠れている。	センサーは人の動きによる温度変化を探知するため、温度を探知する顔や手が隠れている場合、探知しにくくなります。
	センサーからの送信電波が弱い。	*9.別売(PX-910、PX-930)の取付け前の注意*の電波が原因で動作しない場所を参照
	センサーの点灯ツマミが①側に調節されている。	点灯ツマミを②側に調節する。
周囲が暗いのに点灯ツマミを③側にしても、点灯しない。	センサーのレンズに他の照明器具の光が当たり、センサーが夜と認識していない。	点灯ツマミを③側に受信機が動作するまで回す。 *8.①点灯(明かりセンサー)の調節*参照
本機(PX-950)が消灯しない		
消灯しない。	センサーの探知範囲内に人がい続けているため、時間が延長され、消灯しない。	センサーの探知範囲から出る。

現象	考えられる原因	処置
本機(PX-950)の動作がおかしい		
探知範囲内に人がいるのにライトが消灯する。	電源スイッチをONにした直後。 探知範囲内で人が静止している。	約20秒後、消灯する事を確認する。 センサーは静止している人には探知しません。
点灯しない、または点灯回数が少なくなった。	曇り・雨・雪の悪天候が数日間続いた為、バッテリーの充電不足。 梅雨の時期は点灯回数が少なくなります。 ソーラーパネルが太陽光の当たる向きに合っていない為バッテリーの充電不足。	電源OFFにし、晴天の日に2日間充電してください。"4.ご使用前に本体を充電してください"参照 ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に設置する。(ソーラーパネルの汚れを拭き取る) "4.ご使用前に本体を充電してください"参照
点灯しない、または点灯回数が少なくなった。	バッテリーの寿命。	販売店に注文して新しいバッテリーに取替えてください。 (本機のバッテリーは平均500回の充電が可能です)
探知範囲内に人がいないのに点灯する。	センサーの探知範囲内に誤動作源があり、人以外のものを探知している。 "9.別売(PX-910、PX-930)の取付け前の注意"参照	誤動作源を取り除くか、本機の取付け場所を替える。 探知範囲を規制する。 "8.④センサー探知角度の調節"参照
	探知範囲に道路があり、自動車や人の動きを探知している。	センサーの向きを変える。 探知範囲を規制する。 "8.④センサー探知角度の調節"参照
	ライトの光が直接センサーに当たっている。	ライトの光が直接センサーに当たらないようにする。
	近所と同じPIXONのワイヤレスシリーズ、またはRITEXの無線センサーが設置されている。	チャンネルの設定を切替える。 "5.チャンネルの確認・切替え"参照